

みずほCustomer Desk Report 2025/03/31号(As of 2025/03/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	151.20
TKY 9:00AM	150.87	1.0797	162.88	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	151.21	1.0844	163.16	1.2948	0.6299
SYD-NY Low	149.69	1.0764	162.11	1.2968	0.6312
NY 5:00 PM	149.83	1.0834	162.42	1.2922	0.6282
				1.2930	0.6290
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	41,583.90	▲ 715.80	日本2年債	0.8700%	▲0.0100%
NASDAQ	17,322.99	▲ 481.04	日本10年債	1.5500%	▲0.0400%
S&P	5,580.94	▲ 112.37	米国2年債	3.9109%	▲0.0832%
日経平均	37,120.33	▲ 679.64	米国5年債	3.9800%	▲0.1116%
TOPIX	2,757.25	▲ 58.22	米国10年債	4.2513%	▲0.1092%
シカゴ日経先物	36,465.00	▲ 1,010.00	独10年債	2.7320%	▲0.0415%
ロンドンFT	8,658.85	▲ 7.27	英10年債	4.7005%	▲0.0875%
DAX	22,461.52	▲ 217.22	豪10年債	4.4710%	▲0.0460%
ハンセン指数	23,426.60	▲ 152.20	USDJPY 1M Vol	9.53%	0.28%
上海総合	3,351.31	▲ 22.44	USDJPY 3M Vol	10.04%	0.31%
NY金	3,114.30	23.40	USDJPY 6M Vol	9.94%	0.17%
WTI	69.36	▲ 0.56	USDJPY 1M 25RR	▲1.39%	Yen Call Over
CRB指数	306.87	▲ 0.18	EURJPY 3M Vol	10.50%	0.37%
ドルインデックス	104.04	▲ 0.29	EURJPY 6M Vol	10.34%	0.26%

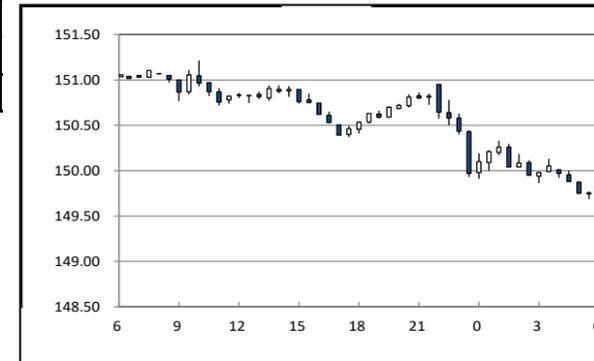
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月28日	08:30	日 東京/東京コア/東京コアコアCPI	3月 2.9%/2.4%/2.2%	2.7%/2.2%/1.9%
	16:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	3月 0.2%/0.8%	0.3%/0.9%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	2月 0.3%/2.5%	0.3%/2.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	3月 57.0	57.9

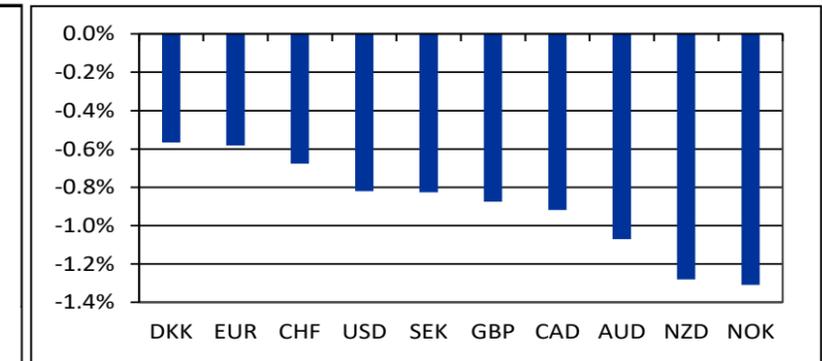
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月31日	10:30	中 製造業PMI	3月 50.4	50.2
	10:30	中 非製造業PMI	3月 50.6	50.4
	15:00	独 小売売上高(前月比)	2月 0.0%	0.3%
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	3月 0.3%/2.2%	0.4%/2.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.50-150.00	1.0750-1.0900	160.50-162.50

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は下落を予想。特段目立ったイベントが予定されない中、先週末からのリスクオフの流れを引き継ぎ、アジア時間は株式市場の軟調推移が上値を抑えるだろう。また4月2日にトランプ政権による相互関税発動が控えていることから、大幅な値動きとはなりづらいか。今週末には米雇用統計が公表予定。足許で米国経済に対する景気懸念後退が強まっている中、雇用環境にも急速な悪化が見られた場合、スタグフレーション懸念からリスクセンチメントの更なる悪化も予想され、再びドル円は下値を探る展開に転じる可能性も想定しておきたい。

東京	ナイト時間は151円近辺で取引されていたが、8:30に公表された東京CPIが予想対比強めの結果となったことで円買い優勢となり、東京時間のドル円は150.87レベルでスタート。朝方は買い戻し優勢となり151.21をつけたが、仲値決済後はやや値を下げ、150.72まで下落し、結局150.75レベルでロンドンに渡った。
ロンドン	欧州時間のドル円相場は米国のPCE統計の発表を控え、レンジ推移。ロンドン時間後半に発表されたPCEデフレーターは概ね市場予想通りとなり、ドル円への影響は限定的となった。150.75レベルでオープンの際、米金利も方向感なく推移する中、150.37から150.95のレンジで終始、150.81レベルでニューヨークに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された米2月PCE統計では個人支出(前月比)が予想を下回り、市場はドル売りで反応。続いて発表された米3月ミシガン大学消費者マインド指数(確報値)も予想を下回ると、ドル売りが加速し、149.90付近まで下落。午後は150円台を回復する場面もあったが、米金利が下げ幅を拡大する動きに再度下落し、149.69まで値を下げる。その後は下げ渋り、149.83レベルでクローズ。一方、NY市場のユーロドルは、米2月PCE統計で個人支出等が予想を下回った事を受け、ドルが売られる中、1.0844まで上伸。午後はドル売り一巡となり、1.0830付近を中心とした推移が続き、1.0834レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。